



# JPT2025年4月採用 職場体験インターン プレゼンテーション

小野 愛

1

課題 1 の工夫点・アピール

2

課題 2 のプレゼンテーション

3

課題・インターンの感想

1

課題 1 の工夫点・アピール

2

課題 2 のプレゼンテーション

3

課題・インターンの感想

- 効率的に作業できるように取りまとめ画面や承認画面では一覧から選択し、まとめて実行ができるようにしました。
- 取りまとめや承認の際に、他の課や部署の申請書を取りまとめてしまう、承認してしまうなどの不正な操作の対策を十分考慮し検証しました。

# 2

## 課題 2 のプレゼンテーション

1

課題 1 の工夫点・アピール

2

課題 2 のプレゼンテーション

3

課題・インターンの感想

- 実運用するにあたっての 4 つの提案
  - 取りまとめの業務フローの見直し
    - 現状では取りまとめ前に間違いなどを確認しても差し戻しができないため、業務フローを改めて検討し、確認作業が必要なら差し戻しできるようにする、不要なら時間になると自動的に取りまとめが行われるようにする
  - 休憩時間を正確に計測する
    - 残業開始時、休憩開始時、休憩終了時、残業終了時にボタンを押すことで時間を入力、計測する機能の追加し、残業報告入力の手間を省き、かつ区分をまたぐ残業をした際、実際の勤務時間に基づいて残業代が支払われるようにする

- 実運用するにあたっての 4 つの提案
  - 再申請機能の実装
    - 課題 1 では却下、差し戻しについては状態として表示されるだけであつたが、差し戻しの際、修正して再申請できる機能を実装すれば、より実用的になる
  - 一か月分の残業報告書を自動的に作成する
    - 入力された残業申請書をもとに自動で一か月分の残業報告書を自動的に作成し、残業報告書作成にかかる時間や労力を削減する

## 2

# 課題 2 のプレゼンテーション

- 導入にあたっての 3 つの提案
  - 使い方の前に、まず意義やメリットを丁寧に説明する
    - 新しく操作を覚えるのは大変だが、その意味はあると納得してもらうため
      - 例) 残業時間の計算や報告書作成の負担が減る、など
  - チュートリアルを用意する
    - ゲームでよくある操作のチュートリアルのようなものを実装し、アプリ内からいつでも確認できるようにする
    - 人に聞く、マニュアルを読むより手軽になる



- 導入にあたっての 3 つの提案
  - 導入時の研修は外部の講師を招く
    - 社員から社員への研修だと質問するのに抵抗を覚える社員もいる
    - ただし意義やメリットの部分は内部事情を知っている社員が説明した方が説得力があるだろう

1

課題 1 の工夫点・アピール

2

課題 2 のプレゼンテーション

3

課題・インターンの感想

- 課と部の違いをあまり理解していないまま、仕様を考え、実装し出したため、あとで修正に手間取ってしまいました。資料の読み込みや下調べ、確認作業が不十分であったことを反省しています。実務では焦らず事前準備をすることを心がけたいです。
- 時間内で、最大限のパフォーマンスをする難しさを感じました。私は時間内に行うことへの意識が強すぎ、簡素な実装になりすぎたと感じています。ひとまず最低限のものを完成させつつ、残り時間で着実にブラッシュアップしていくマネジメントスキルを身に着けたいです。

# THANK YOU

最後までご覧いただき、ありがとうございました。